

「データベースをじっくりかう・課題と展望」

Developing and Using Linguistic Databases: Problems and Prospects

14:15~14:25 シンポジウム概要説明:
成田広樹(コーディネーター・東海大学)
Introduction: Hiroki Narita (Coordinator, Tokai University)

-----容認性判断データをめぐる課題と展望-----

Session 1: Acceptability judgments

14:25~14:50 大関洋平(東京大学)
「容認性判断アーカイブの開発と応用」
Yohei Oseki (University of Tokyo):
Development and application of an acceptability judgment archive

14:50~15:05 ディスカッション: 上山あゆみ(九州大学)
Discussant: Ayumi Ueyama (Kyushu University)

15:05~15:15 セッションQ&A

-----子供発話コーパスをめぐる課題と展望-----

Session 2: Child language data

15:15~15:40 野村潤(京都女子大学)「CHILDESデータの
作り方・つかい方と自然発話研究の役割について」
Jun Nomura (Kyoto Women's University): Creating and using
CHILDES data: What are the roles of naturalistic studies?

15:40~15:55 ディスカッション: 杉崎鉦司(関西学院大学)
Discussant: Koji Sugisaki (Kwansei Gakuin University)

15:55~16:05 セッションQ&A

16:05~16:10 休憩

-----日本語諸方言コーパスをめぐる課題と展望-----

Session 3: Dialect corpus

16:10~16:35 木部暢子(国立国語研究所)「日本語諸方言コーパスの
構築と活用ーパラレル音声コーパスの可能性ー」
Nobuko Kibe (NINJAL): Construction and utilization of Corpus of
Japanese Dialects (COJADS): The possibility of parallel speech corpus

16:35~16:50 ディスカッション: 小西いずみ(東京大学)
Discussant: Izumi Konishi (University of Tokyo)

16:50~17:00 セッションQ&A

17:00~17:15 パネル・ディスカッション Panel Discussion

※日本言語学会第163回大会会期中の開催ですが、本公開特別シンポジウムは
どなたでも聴講できます。

11月21日(日) 14時15分~17時15分
オンライン開催



日本言語学会



言語系学会連合

お問い合わせ

言語系学会連合事務局 uals.office@gmail.com

言語系学会連合ウェブサイト: <https://uals.net/>

日本言語学会ウェブサイト: <https://www.ls-japan.org/>